

令和6年度 高千穂町立田原小学校 学校評価書

学校経営ビジョン：知・徳・体のバランスのとれた田原っ子の育成

【評価】 4：よい、3：だいたいよい、2：もう少し、1：よくない

重点 目標	評 価 項 目		平均（４点満点）期待値：3.2					考察及び改善策	学校運営協議会委員の意見
			児童	保護者	委員	職員	平均		
確 かな 学 力 の 定 着	①	学校は、一人一人に応じた「わかる」「できる」授業を行い、学習内容を定着させ、学力を向上させようと努力している。	3.5	3.6	3.8	3.3	3.5	3.4	○「確かな学力の定着」に関する総合評価は、４点満点中「3.4」で、達成率85％である。 ①の「分かる」「できる」授業の評価は平均「3.5」で達成率87％であった。学校訪問や管理職も行う一人一授業等を活用し、授業改善に努めてきた。今後も、相互参観を取り入れ、日々情報交換しながら「対話」を取り入れた田原小ならではのきめ細かな授業を継続して実践する。 ②の「タブレットを活用した授業」に関する評価は、平均「3.6」で達成率90％であった。一人一端末の授業スタイルが定着し、全学級でICT機器を活用した授業実践が行われた。今後は、授業のどの場面で活用するとより学習効果が高まるかの検証を行い、指導方法の工夫改善を行いたい。 ③の「読書」に関する評価については、平均「3.2」で、達成率80％である。今年度は、読書推進委員が町内に配置され、図書担当と連携しながら、読書推進に取り組んだ。また、夏季休業を中心に、図書室の環境整備を行い、図書室としての機能を充実させた。2月3日現在で約3600冊を貸し出しているが、朝の読書の時間に読んだ冊数を加えると、4000冊程度の読書数が見込まれる。次年度は、150周年記念事業で新書の購入が見込まれるので、児童が足を運びたくなる「魅力ある図書室」を目指し、更に工夫を重ねていきたい。
	②	担任は、タブレット等を活用し、参観日や研究授業・相互参観等授業公開を通して、日々授業改善を行い、授業力向上に努めている。	3.6	3.6	3.8	3.4	3.6		
	③	学校は、児童が進んで読書をするように、読み聞かせや本を選びやすい図書室環境の工夫等努力している。	3.2	3.1	3.8	2.8	3.2		
豊 かな 心 の 育 成	④	学校は、道徳・人権教育やよりよい人間関係づくりの推進に努めている。	3.6	3.4	3.8	3.3	3.5	3.2	○「豊かな心の育成」に関する総合評価は、「3.2」で、達成率80％である。 ④の「よりよい人間関係」の推進は平均「3.5」で達成率87％であった。職員の評価が、昨年度の「3.0」より向上したのは、日頃の職員間の連携や「風通しのよい職場」を目指した研修を通して、日常から児童についての情報交換を積極的に共有した成果と思われる。一部固定化した人間関係も見られるが、今後も全ての教育活動において、よりよい人間関係を築くことを意識した指導を行いたい。 ⑤の「あいさつ」に関する評価については、平均「3.5」で達成率87％であった。昨年度と比較すると評価はほとんど変わらず、期待値以上であるが、今後も地域の一員としてどんな所でも積極的にあいさつをするよう、学校・家庭・地域の三者が意識を共有して指導を行いたい。 ⑥の「メディアコントロール」に関する評価については、平均「2.7」で達成率67％と、全項目中唯一期待値を大きく下回った。ただし、児童は昨年の「2.5」(達成率63％)から「2.9」(達成率72％)と9％意識向上が見られる。今年度も学校保健委員会を活用した授業や高千穂町の養護教諭部会が作成した「メディア利用のルール」の配付、児童にメディア利用の時間の設定を行った。次年度も、児童だけでなく親子で意識できるような取組を実践していきたい。
	⑤	児童は、「おはようございます」「こんにちは」等のあいさつをよくしている。	3.6	3.6	3.8	3.0	3.5		
	⑥	児童は、家庭のルールに沿った(1日、1時間等)のメディアコントロール」を実践している。	2.9	2.2	3.0	2.6	2.7		
健 や かな 体 の 育 成	⑦	児童の体力が、向上していると感じる。	3.5	3.6	3.8	2.3	3.3	3.5	○山間部の児童の体力育成にはまだ課題があるのかと思う。学校、家庭、地域が連携して取り組むべき課題と実践手法を共有できたらと思う。 ○高学年になるほど、外での遊びをやらなくなる傾向があるので、学校内でのちょっとした体操、昼休みの外遊びを励行してほしい。 ○感染症に関しては、他校と比べて感染者も少なく、しっかり感染対策が取れていると思う。 ○今まで校内や校外で大きな事故や怪我無く過ごせているのは、先生方の日頃の指導の賜物だと思う。 ○避難訓練等を定期的に行い、意識づけていくことが大切だと思う。 ○様々な災害等いつ起こるか分からないという意識を常に持ち、人の話をしっかりと聞くという態度は、大切だと思う。 ○地域の方に見守ってもらっていることが分かる。また、警察官に話をしてもらう機会を設けるのもよいと思う。
	⑧	児童に、けがや病気・食育等、健康に関する望ましい態度や習慣が身に付いている。	3.5	3.2	3.5	3.8	3.5		
	⑨	児童に、災害や不審者・交通安全等、安全に関する意識が高まっている。	3.7	3.5	4.0	4.0	3.8		
家 庭 地 域 と の 連 携	⑩	児童に、家庭や児童クラブで宿題をする等、学習習慣が身に付いている。	3.6	3.2	4.0	3.3	3.5	3.6	○児童クラブにおける学習は、個々に応じてしっかりと指導がなされているのを感じる。家庭学習においては、学校に任せるのではなく、親の対応が大事だと思う。 ○ホームページの作成・運営に感謝をしている。引き続き現状維持してほしい。 ○学校の発信力で、地域の子どものいない家庭からの関心も高まっている。コミュニティ・スクールの観点からも、地域とのつながりを大事にしていきたい。 ○地域を知るために、新しい取組(しゃべり場やワクワク地区別活動)をとおして、地域の知らなかったことが分かり、児童の住む地域を再発見することができた。更に地域に興味をもってほしい。地区で事前の連携がとれておらず課題が残り、次年度は改善していきたい。 ○「ワクワク地区別活動」では、先生方に校区内を歩(さる)いてもらうことで、地域の伝統文化、風習を感じてもらえるのではと思う。指導の一助になればと思う。 ○「しゃべり場」や「ワクワク地区別活動」など地域とともに活動する行事があり良かったと思う。計画等色々大変かと思うが、次年度もみんなで楽しめれば良いと思う。 ○「しゃべり場」はとてもいい体験をさせていただいた。児童素直な意見も聞くことができ、ぜひこの様な場を設けてほしい。
	⑪	学校は、各種通信やHP等で家庭や地域へ積極的に情報発信をしている。	3.1	3.5	4.0	3.4	3.5		
	⑫	学校は、地域との積極的な交流を計画し、ふるさと高千穂の魅力を発見し、ふるさとを愛する児童の育成に取り組んでいる。	3.8	3.6	4.0	3.5	3.7		
教 職 員 の 質 の 向 上	⑬	学校の職員は、法令を遵守し、地域に信頼される行動を取っている。	3.8	3.6	3.8	3.8	3.7	3.7	○校長先生や教頭先生をはじめ、先生方は地域行事によく参加されていると思う。今後とも、地域と学校が一体となって、児童を育てていけるようにお願いしたい。 ○児童も地域の人も常に学校職員の後姿を見ているので、今後も引き続き、地域の方々に信頼される行動をとってほしい。 ○県内在住の先生方との交流が、地域にとっては新鮮な風となって良い意味での刺激となっている。学習指導力の強化に努めていただいていることに感謝している。評価が高いことは最もだと思う。 ○思いやり、やさしさ、仲の良さが(職員間)今の児童に反映されている。
	⑭	学校の職員は、授業や学校行事等、地域の発展のために努めている。	3.8	3.6	4.0	3.1	3.6		